

勤労婦人の母子保健学的研究

宮原 忍¹⁾ 本多 洋²⁾ 天野 和彦³⁾ 宮里 和子⁴⁾
伊藤 桂子⁵⁾ 高橋 重宏⁶⁾ 川井 尚⁷⁾ 木村 好秀⁸⁾
沼田 正広⁹⁾

要約：勤労婦人の母子保健学的問題の存在について検討した。勤労婦人を取り巻く状況は、一般的に従来のような際だった問題は減少し、個別的な条件に依存する傾向が強い。

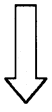
見出し語：勤労婦人、母子保健、母性意識、保健行動

研究方法：勤労婦人の母子保健学的問題について、種々の角度から検討した。木村、沼田は妊娠中の異常、マイナートラブルなどについて調査を進行中である。本多、天野は産褥における乳汁分泌、育児、職場復帰に関する問題、不安などについての調査を行った。川井、宮原は母親の勤労が育児環境母性意識に及ぼす影響について調査している。また、宮原、高橋は婦人の

勤労が母子の社会的環境に及ぼす影響を検討した。宮里は勤労婦人の生活時間について詳細な聞き取りを行った。伊藤は勤労婦人の保健行動を検討した。

結果：主たる結果を別紙に示した。

1) 東京大学母子保健学教室(Dpt.MCH,Univ.Tokyo); 2) 三井記念病院産婦人科(Dpt.Obstet.Gynecol.,Mitui Memorial Hosp.); 3) 東京都立荒川産院(Tokyo Arakawa Lying-in Hosp.); 4) 国立公衆衛生院(National Instit. Publ. Health); 5) 愛知県青少年婦人室>Youth & Women's Affairs Office,Aichi Pref. Gov.); 6) 駒沢大学社会学部(Faculty Sociol.,Komazawa Univ.); 7) 東京都精神医学総合研究所(Psychiat. Inst. Tokyo); 8) 三楽病院産婦人科(Dpt.Obstet.Gynec.,Sanraku Hosp.); 9) 東京都母子保健サービスセンター (Tokyo Metropolitan MCH Service Center)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:勤労婦人の母子保健学的問題の存在について検討した。勤労婦人を取り巻く状況は、一般的に従来のような際だった問題は減少し、個別的な条件に依存する傾向が強い。